

地域とつながるFFG連携プロジェクト

FFGの幅広いネットワークを活かした地方創生の具体的な実例をご紹介します



宗像市

MUNAKATA
CITY

宗像市とふくおかフィナンシャルグループ（以下、「FFG」という）及び福岡銀行は、2017年12月に「地域活性化に向けた連携と協力に関する協定書」を締結し、宗像市の地方創生を実現するため、FFG及び福岡銀行が持つ幅広い顧客網、金融や経営面に関するノウハウ・ツールなど、両者の資源や能力などを相互に有効活用し、地域活性化に向け取り組んでいます。

その具体的な取り組みとして弊誌2020年1月号のクラウドファンディングを活用した事業に続き、2019年10月1日に道の駅むなかたで開催した「みあれ祭のパブリックビューイベント」をご紹介します。

みあれ祭とは、世界遺産である「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群“で知られる宗像大社が毎年10月1日から3日にかけて斎行する

秋の大祭（田島放生会）で最初に行われる祭礼で、沖ノ島にある沖津宮と大島にある中津宮のご神体を、年に1度本土にある辺津宮にお迎えし、三女神の新たな力が生まれるお祭りです。海上神幸では、神璽（神のみたま）を乗せた御座船に、漁船およそ数百隻がお供する壮大な海上パレードが行われます。

みあれ祭の見所である海上神幸は、海上での神事であるため近くで見ることが難しく、そのためFFGでは、道の駅むなかたに大型のパブリックビューイングを設置し、ドローンを用いた生中継を企画・実行支援しました。開催当日は、子どもからお年寄りまで多くの方がパブリックビューイング（PV）を観覧し、迫力ある海上神幸に見入っていました。

FFGではこれからも地方創生に資する取り組みを積極的に続けてまいります。

▼こちらのQRコードで
動画がご覧になれます



▲道の駅むなかたでのPVの様子



▲動画中の一場面



▲みあれ祭の様子（井上正文氏撮影）